



昨年の8月26日の観察会。網で干潟の生き物を採取、興味深きのぞき込みます。▼



## 体験型環境学習 「小瀬川干潟観察会」 — 見て・知って・感じて —

問い合わせ 環境整備課 ☎2154

小瀬川河口の干潟で、大竹の自然に触れてみませんか。干潟には、エビ、カニ、貝などさまざまな生き物が生息しています。これらを採取し観察することで、海や川のきれいさ、干潟の役割など自然環境の大切さを体験しながら学ぶことができます。

とき 6月30日(日)

12時30分～16時

※悪天候などで屋外での活動が難しい場合は、事前に採取した生き物を用いた活動を屋内で行います。

ところ 小瀬川河口(東栄3丁目)

対象 市内在住または勤務、通学の方とその家族(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 40人(申込順)

講師 広島県環境保健協会職員(環境カウンセラー)

申し込み 6月3日(月)9時～18日(火)17時15分に電話で環境整備課へ。

## 年金振込通知書が届いたら確認を

問い合わせ

広島西年金事務所 ☎082・5335・1505  
岩国年金事務所 ☎22222  
保健医療課 ☎2141

### 年金の支払い

毎年2・4・6・8・10・12月の年6回、それぞれ前2カ月分の年金が本人の指定する金融機関口座へ振り込まれます。振込金融機関を変更したいときは、最寄りの年金事務所、または保健医療課で申請してください。

### 6月は年金振り込みの通知月

年金を受給されている方には、毎年6月に「年金振込通知書」が送付されます。通知書には6月から翌年4月までの定期支払いの各月の支払日と支払額などが記載されていますので確認してください。

毎月第一土曜日は「ひろしま環境の日」です。

「ひろしま環境の日」一斉行動

6月のテーマ

買い物にはマイバッグを持参しよう!

家庭で、職場で、できることから始めましょう。

環境整備課 ☎2154

なお、途中で年金額に変更がある場合は、「年金額改定通知書」でお知らせしています。  
年金の予約相談  
全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続きの予約を受け付けています。  
予約の受け付けは相談希望日の1カ月前から前日までです。基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書を準備して連絡してください。  
待ち時間を少なくできる予約相談を利用してください。  
※予約状況により、希望に添えない場合があります。  
予約受け付け時間  
平日 8時30分～17時15分  
※土・日曜日・祝日、12月29日～1月3日はご利用できません。  
予約受け付け専用電話  
【ねんきんダイヤル】  
☎0570・054890  
☎050から始まる電話の場合は  
☎03・6631・7521  
●大竹商工会議所での出張相談の予約は、広島西年金事務所です。  
☎082・5335・1505

会場まで無料送迎バスを運行  
停車場所 玖波支所、市役所、総合市民会館、大竹支所、栄公民館  
定員 28人(申込順)  
※車でお越しの方はリサイクルセンター(東栄3丁目4)の駐車場を利用してください。

### おたけ「ごみ事情」No.11

## 「使い切り・食べきり・水切り」 3つの「きり」で生ごみ減量

問い合わせ 環境整備課リサイクルセンター ☎5101

「もやすごみ」のうち「生ごみ」が約4割を占めています。この中には、「手をつけていない食料品」や「食べ残し」も多く含まれています。また、「生ごみ」には約80%の水分が含まれています。

「使い切り・食べきり・水切り」の3きりを実践し、生ごみの減量にご協力をお願いします。

### 食材は使い切る「使い切り」

食材は必要な分だけ買って、無駄なく活用しましょう。買い物に出かける前に冷蔵庫の中をチェックすることで、多く買すぎたり、同じものを買ったたりしないよう心がけましょう。

### 料理は食べきる「食べきり」

料理は必要な量だけ作りましょう。





残ってしまった料理や食材は、冷蔵・冷凍で保存したり、別の料理に活用したりするなどして、食べきる工夫をしましょう。

### 生ごみは水気を切る「水切り」

生ごみを捨てる前に、ぎゅっとひと絞りにして水気を切りましょう。水を切り、生ごみを減らすことで、悪臭対策にもつながり、ごみを出す量も減ります。

### 生ごみ処理容器購入の助成

生ごみをたい肥化することで、「もやすごみ」の減量を進めるため、生ごみ処理容器の購入者に対し、次の助成を行っています。

|            | 生ごみ処理バケツ   | コンポスト  | 段ボールコンポスト  | 電動生ごみ処理機   |
|------------|--|--|--|--|
| 対象の生ごみ処理容器 | <br>EMポカシ専用のバケツ型の処理容器 | <br>畑などの屋外に設置する容器 | <br>通気性のよい段ボールと竹パウダー、もみ殻くん炭などの内容物を組み合わせたもの | <br>温風や微生物などを利用して乾燥し、発酵・分解する電動処理機 |
| 助成額※       | 1,000円   | 2,000円<br>(容量が130ℓ以下)<br>3,500円<br>(容量が130ℓを超える)   | 1,000円   | 20,000円  |
| 上限数        | 年間2個   | 年間2個   | 年間6セット   | 5年間で1機   |
| 主な販売所      | 環境整備課(市役所2階)またはリサイクルセンター(東栄)   |  | NPO法人 えこらいふ大竹(中川宅 ☎7568)   | 家電販売店  |
| 申請方法       | 領収書、認め印、申請者名義の口座が確認できるもの(預金通帳など)を持参し、環境整備課またはリサイクルセンターで申請してください。助成金は、後日、指定口座に振り込みます。                     |  |  |  |

処理容器1個または1セットにつき、購入金額の2分の1以内の額(100円未満は切り捨て)で、上記の金額を上限とします。